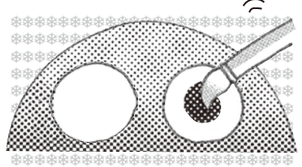
家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2021 4

残り時間は平等 コレが勝てる過去問演習

協力：麻布個人指導会

東京都・神奈川県の中学入試まで残り約3か月となりました。受験生は追い込みの勉強として連日志望校の過去問に取り組んでいることでしょう。

そこで今回の専門家庭教師の眼は麻布個人指導会の2名の講師に、過去問演習のポイントを4教科について聞きました。少しの取り組み方の差が、大きな結果の違いとなります。読み終えたらすぐにアドバイスを実行しましょう。

横林（よこばやし） 芳雄（よしお） 講師

中学受験の指導に20年以上のキャリアがあり、麻布個人指導会で送り出した受験生は延べ200名に達する。毎年、難関・上位校へ合格者を輩出する一方で、厳しい状況から巻き返して合格へと導く手腕にも定評がある。

最近の合格実績
筑波大駒場、開成、麻布、女子学院、駒場東邦、聖光学院、慶応普通部、慶応中等部、早稲田、海城、豊島岡女子、吉祥女子、鷗友学園、明大明治、芝、本郷、城北、広尾学園など。

算数 過去問の正答率が低くても焦ったり諦めたりしないこと

●過去問演習はそれ自体を通じて実力がどんどん上昇します

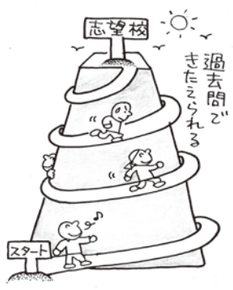
過去問演習については志望順位の高い中学校のものは最低5年分、できれば10年分やります。1度目はあまり得点を気にせず、1月になって直前に仕上げの勉強として2度目をやるのがお勧めです。これも5年分が目安ですが、得点が低かった年度にしぼってもいいです。いずれの場合もきちんと正確に時間を計ってやりましょう。

過去問演習自体を通じて実力はどんどん上昇しますから、焦る必要はありません。Aさんは2か月前で20％そこそこの正答率でしたが、女子学院中合格を果たしています。私はまず5割を目標に1問あたりにかける時間をゆったりとって、1問1問大切に解くようにアドバイスしました。この時期は満点を目指すのではなく、5割を目標として気持ちに余裕を持たせましょう。

●道筋が見えたら一旦立ち止まり、最短で解ける方法を探ってみよう

問題を解く際には次のことを念頭にやってみて下さい。①問題文を集中して読む。②条件をきちんと整理する。③図や表を描いて考える。④丁寧に計算する。⑤単位も含めて問われている解答かを確認する。ミスが多いという心配の声を聞きますが、簡単と思える問題ほどこれらのどこかがおろそかになっています。この5つの手順はどんな問題にも共通して大事なことですから、ぜひ実践してもらいたいです。

また、③の考える部分では、解答への道筋が見えたら一旦立ち止まって、最短で解ける方法を探ってみることもやってほしいです。例えば容積を求める問題で比を使った方が計算が楽、角度を求める問題で片っ端から角度を調べなくても答えにたどり着けるなど、案外あるものです。この「立ち止まる」クセが最終的には解答の速さと正確さを身につけることにつながっていきます。



理科 苦手分野は他の人もできない着実に取れる問題を増やそう

●4分野の復習は自分専用の見直しノートを用意してやってみよう

ほとんどの中学校で入試問題は4分野からまんべんなく出題されます。不得意な分野は人によって違いますから、自分専用の見直しノートを用意すると合理的です。塾のテキストや問題集、過去問などから苦手な単元で間違えた問題をコピーしてノートに貼ります。問題文が短ければ直接書き写してもいいです。

ポイントはあまり難しい問題ではなく基本問題で×だったものにしぼることです。入試本番で最も避けたいのは、苦手な単元丸ごと得点できないことです。弱点単元で少しでも得点できるようにするのがこの見直しノートの目的です。単純な知識の抜けや解けそうな問題などを貼っておいて、時間がある時に開いて見直しましょう。

●過去問の解説は文章中で解答に必要な部分が集約されています

過去問題集は解説がしっかりしているものを使いましょう。各中学校が配布するもの、ダウンロードするものは不十分なものもあります。解説をしっかり読んで理解しておくことはとても大切な勉強です。入試問題は問題文が長いですから、読解力と分析力が重要になります。惑わす言葉や文章が入っている場合もあります。その中でいかに必要な部分を抽出できるか、着目できるかが勝負です。解説にはその必要な部分が集約されて載っていますから、先ほどのノートに貼って読み返すのも非常に効果的です。

先ほど申し上げたように過去問についても、もう一息で解けそうな問題の見直しを優先して下さい。例えば浮力や電流、天体を苦手としている受験生は「この単元は他の受験生もそんなに得点できない」。それくらい割り切った気持ちを持って構わないです。少々乱暴かも知れませんが、これから先はそう思って基本問題で1つでも2つでも○を増やせる勉強を積んでいきましょう。

●基礎あっての発想やひらめき、最後まで基本問題にも取り組もう

具体的な単元では、この中学校でも出題される「速さ」と「平面図形」は特に押さえておきたいところです。「速さ」では時間とともに動きを示す線分図、ダイヤグラムの使い分け、「平面図形」では補助線の引き方と、求める部分から逆に調べる箇所をたどっていくような思考、これらは多くの問題に触れて鍛えておきましょう。

早稲田中に合格したB君は、解き方が自己流で解答まで遠回りしていました。そこで先ほど述べた問題の典型的な解き方を徹底して指導しました。基本の解き方が定着すると、難問でB君の持ち味、アレンジがうまく効くようになりました。やはり基礎あっての発想やひらめきなのです。最後まで基本問題や典型問題にも取り組みましょう。

国語 過去問演習の後どうするかかける手間で伸びが違います

髙橋（たかはし） 晋子（しんこ） 講師

個別指導塾や家庭教師として受験指導の経験を積み上げている文系教科指導の専門家。国語(社会)嫌いの受験生も、ムダのない指導で着実に得点力を引き上げている。穏やかな人柄で多くの受験生から慕われている。

最近の合格実績
女子学院、鷗友学園、浅野、サレジオ学院、芝、攻玉社、世田谷学園、立教池袋、頌栄、大妻、普連土、横浜雙葉、洗足学園、鎌倉女学院、法政第二、桐蔭学園、成城学園、森村学園など。

●第一、第二志望校の過去問は2回やってもらいたいです

国語の過去問は繰り返しやるか、やらないか。迷っている受験生もいるのではないでしょうか。私は第一、第二志望校は2回やってもらいたいと考えています。全ての問題ではなく短い時間で構いませんので、説明文のみとか大問のいくつかにしぼってやります。

1か月、2か月後にやると、できていた問題ができなくなっていることがあります。「紛らわしい選択肢に引っかかった」。「教わった記述のやり方を忘れていた」。理由はいろいろあるでしょうが、何故できなかったのか自分の頭の中を整理しておきましょう。入試本番で最大限の力を発揮できるように、ここで分析しておくのです。

●知識の習得はノートが埋まっていく達成感を味わいながら

過去問を解いた後、A5サイズや手帳くらいの小さいノートを用意して知識をまとめましょう。具体的には文章中に出てきた意味の分からない言葉や難しい表現を書き込みます。漢字・熟語や慣用句なども不安なものはどんどん書いて、自分の知識ノートを完成させていくのです。

知識は手間に比例して身についていくものです。しかし、限られた時間でやっていくには工夫が必要になるでしょう。そこでこの過去問を進めながらピックアップして覚えていくやり方をお勧めしたいです。ノートが埋まっていく達成感も味わいながら知識を増やしてほしいです。

社会 入試問題は聞かれ方が特殊、対応できる勉強をしましょう

●断片的なヒントから解答を推察して導き出せるようにしましょう

入試問題になると持っている知識をパッと取り出せない受験生が多いです。それは歴史と地理の融合問題で複雑だったり、やや聞かれ方が特殊だったりするからです。最初から最後までできれいに説明されているような問題文はまずありません。断片的なヒントから解答を推察し、導き出せるようにすることが大切です。

例えば「○○の干拓」とあれば、有明海、八郎潟、児島湖の3つからしか出題されたことがないです。干拓は他にもあるのですが、迷わず〝あたり〟をつけられます。また、「東北地方を分ける山脈」と「太平洋側と日本海側の気候を分ける自然条件」。セットで出題されることが多いのですが、片方しか答えられない受験生もいます。いろいろな尋ねられ方をするのが入試問題です。できるだけ多くの過去問を解いて、知識をきちんとアウトプットできるようにしておきましょう。社会はクセが強い中学校（麻布中、武蔵中、渋谷幕張中など）を除いて、どこの中学校の過去問をやっても効果的です。

●調べる過程で得られる自分なりの気づきが得点を上げます

歴史人物と統計資料は代表的なものを覚えておくと非常に汎用性が高いです。歴史人物は教科書やテキストの後ろに一覧表がありますので、何をした人物かを改めてチェックしておきます。

統計資料は地図帳に載っています。都道府県別の人口と面積を知っておくだけでも役立ちます。地方別に最も多い（広い）、少ない（狭い）をぜひ押さえておきましょう。ちなみに人口500万人以上は9つです。これを除いて300万人以上は1つしかありませんが、すぐに出てくるでしょうか。また、政令指定都市があやふやな受験生も多いです。一緒に調べてみて下さい。調べるという作業は大事で、ふと意外な〝何か〟に気づくこともあります。この自分なりの気づきは、きっと入試本番で活躍するでしょう。

教務の現場から❼

●入試問題から「買い物」がなくなる…？

電子決済サービスが普及し、利用者の数が右肩上がりで増えているそうです。先月ある中学校の先生と話す機会があり、話の中で「いずれ小学生も現金を手にしなくなって算数で買い物の問題はなくなるかも」。「実感がわかなくなるのに加えて古臭く感じられてしまう入試問題は避けたい」。そう仰っていました。なるほど……国語ではむしろ昔の生活様式や風習が頻出なので、それとは対照的です。

さて、現金での買い物では財布の中の小銭を見て、おつりがジャラジャラと多くならないように支払う金額を考えたりするものです。しかし、電子決済ではポイントの付与でお得、この何気ない頭の体操的な計算も必要ありません。たくさんの利点がある一方で、電子決済に限らず身の回りのことが便利になりすぎ、日常生活で何も考えなくて済んでしまうのも少々寂しく感じます。

教務：谷地又

学生は一切派遣していません

創立35年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

258校にのべ712名の受験生が合格いたしました
2021年度　中学合格実績（五十音順）

男子 ＝130校のべ376名の輝くゴール＝

青山学院	1名	逗子開成	4名
浅野	8名	成蹊	3名
麻布	3名	聖光学院	7名
市川	8名	成城	5名
栄光学園	2名	成城学園	3名
江戸川取手	3名	世田谷学園	4名
海城	8名	専修大松戸	4名
開成	4名	高輪	6名
開智	4名	中央大附属	2名
学習院	7名	筑波大駒場	1名
鎌倉学園	2名	東京都市大付属	9名
暁星	3名	桐朋	5名
慶応湘南藤沢	1名	東邦大東邦	6名
慶応中等部	1名	獨協	5名
慶応普通部	2名	日大二	3名
攻玉社	5名	広尾学園	3名
国学院久我山	5名	法政大学	5名
駒場東邦	5名	法政第二	3名
栄東	19名	本郷	9名
サレジオ学院	3名	武蔵	3名
芝	7名	明大中野	6名
芝浦工大柏	4名	明大明治	2名
芝浦工大附属渋	3名	立教池袋	5名
谷教育渋谷	4名	立教新座	6名
渋谷教育幕張	4名	早稲田	5名
城北	5名	早稲田高等学院	4名
巣鴨	9名	公立一貫校	2名
			他多数合格

女子 ＝128校のべ336名の輝くゴール＝

青山学院	3名	女子学院	3名
青山横浜英和	2名	白百合学園	2名
跡見学園	7名	成蹊	3名
市川	7名	成城学園	3名
浦和明の星	7名	洗足学園	4名
桜蔭	2名	専修大松戸	5名
鷗友学園	2名	中央大附属	2名
大妻	5名	中央大附属横浜	2名
大妻中野	3名	東京女学館	4名
学習院女子	5名	東邦大東邦	6名
鎌倉女学院	2名	東洋英和	5名
吉祥女子	4名	豊島岡女子	7名
共立女子	8名	日本女子大附属	3名
慶応湘南藤沢	2名	広尾学園	3名
慶応中等部	1名	フェリス女学院	3名
恵泉女学園	6名	雙葉	3名
光塩女子学院	2名	普連土学園	2名
晃華学園	2名	法政大学	3名
香蘭女学校	5名	三田国際	2名
国学院久我山	2名	三輪田学園	5名
栄東	15名	明大明治	2名
実践女子学園	5名	山脇学園	6名
品川女子学院	5名	横浜共立	2名
渋谷教育渋谷	2名	横浜雙葉	2名
渋谷教育幕張	3名	立教女学院	4名
淑徳与野	7名	早稲田実業	1名
頌栄女子学院	4名	公立一貫校	2名
			他多数合格

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。
※ホームページには他の合格校も掲載していますので、ぜひご覧下さい。

のべ6,000名以上の受験生を志望校へと送り出しています

入会の制約のない体験授業

講師へのご要望は事前に教務スタッフがお聞きいたします。このご相談はオンラインでも承っております。

■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業前の申込書へのご記入などはありません。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。
■万一の場合には別の講師を人選し、再度体験授業を受けられます。

指導料は完全な後払い

●入会金 22,000円(税込)　一家庭無期限有効
●月額指導料 52,800円～79,200円(税込)
［週1回（各2時間）の授業で月4回の場合］

※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。
※人選は指導料についてのご要望を加味した上でいたします。

○入会金は体験授業でご納得いただいた後でご請求いたします。
○指導料は月単位の完全な後払いです。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不明瞭な費用はありません。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。
○指導開始後も、多くの学校に受験生を送り込んできた教務スタッフが受験校のご相談など、さまざまなサポートをさせていただきます。

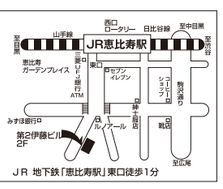
首都圏にお住まいでなくても受講できます！ご相談下さい

○当会には地方の方からのご依頼もあります。指導させていただくのは全員が中学受験の専門家、首都圏で指導中の講師が担当します。
○オンライン指導に対応できる講師が増え、これまでよりも格段にお子さんの現状と家庭のイメージに合った人選が可能となりました。
○お住まいの場所や状況を問わず、まずはお気軽にご相談下さい。プロが学生とは違う、合格のための手応えのある〝一手〟となります。

〈近年の主な合格校（首都圏外）〉
ラ・サール(鹿児島県)，函館ラ・サール(北海道)，北嶺(北海道)，洛南(京都府)，西大和学園(奈良県)，早稲田佐賀(佐賀県)，愛光学園(愛媛県)他
※首都圏の中学校を受験して合格した例も多数あります。

中学受験専門の講師による1対1個人指導教室を併設

家庭と教室とで指導する講師に違いはありません。全員が中学受験専門の講師です。教室は広い空間を確保し、圧迫感のない対面形式の授業を実現しています。また、授業の前後には自習室としての利用も可能です。



●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から 0120-14-3004
●携帯電話から ☎03-3440-1940
《受付時間》朝7：30～夜8：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●HPで最新情報更新中
麻布個人指導会 検索
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F